

平成 20 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	分子ナノシステムの創発化学
領域代表者名	川合 知二（大阪大学・産業科学研究所・教授）
研究期間	平成 20 年度～24 年度
【科学研究費補助金審査部会における所見】 本研究領域は、分子の新規集積化手法の開発、新規化合物の創製およびそれによる協同現象の探索を「創発化学」なる新分野ととらえ、推進するものである。ビルドアップ型ナノサイエンスにおいて我が国が世界を先導する上で本研究領域の必要性は高く、研究目的およびそれを実現する研究計画は十分妥当であると判断する。本領域には力量ある研究者が数多く参画していることから、個々の計画研究の成果については十分に期待できる。プロジェクト研究を実施する観点から、領域全体の共通戦略の明確化と研究項目間あるいは計画研究構成員間の有機的連携についても期待したい。領域代表者のマネジメント能力は十分であると判断するが、本研究組織には他の大型プロジェクト研究を実施する研究者が多数参画していることから、領域代表者が特段のリーダーシップを発揮することが期待される。公募研究の設定に当たっては、散逸構造に関する非平衡統計力学分野を含め様々な理論・計算シミュレーション研究者の参画を促すとともに、当該分野における若手研究者育成にも十分に配慮することが望ましい。計上された研究経費について問題は認められないが、研究費の集中と他の大型プロジェクト研究が平行して実施されることを懸念する意見が少なからずあった。	